

令和 6 年度 学校経営環境分析書

1 学校の内外環境の分析

外部環境	O (支援的要因) 外部環境で宮中教育を支援してくれるもの	S (強み) 内部環境で、宮中のもっている強み	内部環境
	<p>【地域】</p> <p>①比較的学校に対する期待感がある。</p> <p>②コミュニティ・スクールの導入により、地域から応援を・サポートを得やすいシステムができる予定である。</p> <p>【市教委】</p> <p>③ビジョンを明確に示している。</p> <p>④学校に対する支援体制が厚い。</p> <p>【県教委】</p> <p>⑤「学びの革新」全県展開に取り組んでいる。</p> <p>⑥服務規律の厳正化を図っている。</p> <p>⑦ICT 機器等の環境が整っている。</p> <p>【国】</p> <p>⑧学習指導要領の則り、未来社会を切り拓くための資質・能力の育成を図っている。</p>	<p>【学校】</p> <p>①不祥事根絶に向け、教職員が危機意識を持って取り組んでいる。(不祥事ゼロ)</p> <p>②部活動休養日の確保等、適度な部活動の意識が定着している。</p> <p>③SSR を開設し、教室以外の生徒の学びの場がある。</p> <p>【生徒】</p> <p>④学年によるが、比較的落ち着いた態度で授業に取り組む生徒が多い。</p> <p>⑤学年によるが、比較的真面目に物事に取り組む生徒が多い。</p> <p>⑥生徒会を中心にあいさつ運動に取り組んでいる。</p> <p>⑦学校外のボランティア活動に参加する生徒が多い。</p> <p>【保護者】</p> <p>⑧PTA 役員をはじめ、学校に対して協力的な保護者が多い。</p>	
	T (阻害的要因) 外部環境で宮中教育をはばむもの	W (弱み) 内部環境で、宮中のもっている弱み	
	<p>【地域】</p> <p>①教育からの期待が大きいため、学校や教師に厳しい目が向けられる。</p> <p>②地域で子どもたちを育てるといった感覚が一部に留まり、希薄になってきている</p> <p>③今求められている教育について十分な理解がない方がいる。</p> <p>【市教委】【県教委】【国】</p> <p>④調査物が多く集中することがあり、他の業務を圧迫することがある。</p> <p>⑤現場の状況にあっていない取組が周知されることがある。</p> <p>⑥アンケートの種類が多い。</p> <p>⑦教育予算や制度についての現状把握や改善ができていない。</p>	<p>【学校】</p> <p>①令和5年度、勤務時間外労働月 45 時間以内の教職員が 50 % である。(1 月末段階)</p> <p>②綿密・迅速な報連相による情報共有は、組織内でムラがある。</p> <p>③職員の年齢・経年構成に偏りがある。</p> <p>④学校の様子の保護者への情報提供が少ない。</p> <p>⑤ICT 機器の効果的な活用に向けて奮闘努力しているが、生徒に日常的に活用させるところまで至っていない。</p> <p>【生徒】</p> <p>⑥自分で考え判断し行動できない、生徒が多い。</p> <p>⑦特性を持っていたり、落ち着かない生徒が多く、他の生徒への影響がある。</p> <p>⑧集団での学びが難しい生徒がいる。 不登校生徒数 1 月末現在 30 名</p> <p>【保護者】</p> <p>⑨学校に対する期待が大きく、教師に無理な要求をする保護者が一部いる。</p> <p>⑩家庭の教育力が低下している。</p> <p>⑪保護者どうしのつながりが希薄になってきている。</p>	

支援的要因と強みを生かした活動・取組

確かな学力の育成
主体的で対話的な学びの創造、授業改善
O-①③④⑤⑦⑧
S-③④⑤

豊かな心の育成
自己指導能力を育成
主体的に判断し行動できる人間性の育成
不登校生徒の未然防止及び支援
O-①②③④
S-③④⑤⑧

郷土愛の育成
コミュニティ・スクールの推進
地域貢献
O-①②③④
S-④⑤⑥⑦⑧

信頼される学校づくり
学校組織の機能化
W-②③④
服務規律の厳正化・不祥事の根絶
働き方改革の推進
教職員の働きがいの推進
W-①⑨

未来を切り拓く力の育成
求められている資質能力の周知・理解
T-①②③⑤
W-⑥⑦⑧⑨⑩⑪

弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策

2 本年度重点目標

- ① 確かな学力・・・育成すべき資質・能力の育成及び授業改善
- ② 豊かな心・・・自己指導能力の育成、道徳性の育成、郷土愛・・・自己有用感の育成
- ③ 働き方改革の推進及び働きがいのある職場づくり
- ④ 服務規律の厳正化・不祥事の撲滅
- ⑤ コミュニティ・スクールの推進